

チャレンジ！！オープンガバナンス 2022 市民／学生応募用紙

自治体提示の地域課題名 (注1)	No.	自治体提示の地域課題名	自治体名
	- (事務局用)	地域資源を活かしたまちの魅力向上について	豊中市
チームがつけたアイデア名 (公開) (注2)	庄内見守り双六		

(注1) 地域課題名は、COG2022 サイトの中に記載してある応募自治体提示の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。これは自治体提示の地域課題名とは別です。

1. 応募者情報 赤字部分は削除して該当の番号を記入

チーム名 (公開)	庄内コレクターズ		
チーム属性 (公開)	1. 市民、2. 市民／学生混成、3. 学生	<u>3</u>	
メンバー数 (公開)	5名		
代表者 (公開)	西嶋大翔		
メンバー (公開)	酒谷侑紀、望月琴音、金安理緒、渡部真菜美		

【注意書き】※ 必ず応募前にお読みください。

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2022_応募用紙_具体的チーム名_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2022 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。admin_cog2022@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公開いたしません)
5. この応募内容のうち、「自治体との連携」は、非公開です。ただし、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイザーの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

アイデアの説明全体が肖像権・著作権等を侵害していないことの確認

○

2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

(1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、対象とする課題解決のために、何をする社会的な活動（サービス）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したくなり、活用してみたいなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなわくわく感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題の要点はこれ！をごく短く書いてください>

増加する独居高齢者の見守り

<この課題解決のために「何を」するアイデアか、それを「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」するかをわかりやすく書いていきます> <アイデアが具体的に実行される場面を想定してください。>

<よいアイデアを生むには関連データの分析確認とデザイン思考によるアイデアを使う人への共感が必要です>

本アイデアは「独居高齢者の孤立化問題を大阪音楽大学学生が年に2回、豊中市南部地域で双六と音楽を使って演奏会を行うことで地域の人たちと楽しみながら見守るサービスを提供します。」

【目的】

私たちは、豊中市南部地域の人口減少、そして市内の他地域と比較して高齢化の度合いが高いという問題に注目した。この活動を実施することによって、世代を超えた交流を生み高齢者の孤立化を解消することを目的とする。

【概要】

豊中市南部地域に住む高齢者の住宅をめぐる双六。双六をしながら楽器となる不用品を集め、最終的にコンサートを行う。高齢者の安否を確認するとともに、交流を図る。

豊中市社会福祉協議会と協力して独居高齢者のリストを作成し、双六のマス目とする。双六を行いながら演奏会に使用する不用品を集めるために、あらかじめリストを作っておく。双六を行いながらリストに沿って不用品を回収する。演奏会を行う公園をゴールとし、決められた軒数を回れたチームからゴールとします。最終的に野田中央公園で演奏会を行う。使用した不用品のうち再利用可能なものは、それらを必要とする人に譲渡する。

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由（なぜ）について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類などの数値データやアンケート・インタビュー・経験の記述、関連の計画、既存の施策などの定性データも広く含みます。データは出所を明らかにしてください。

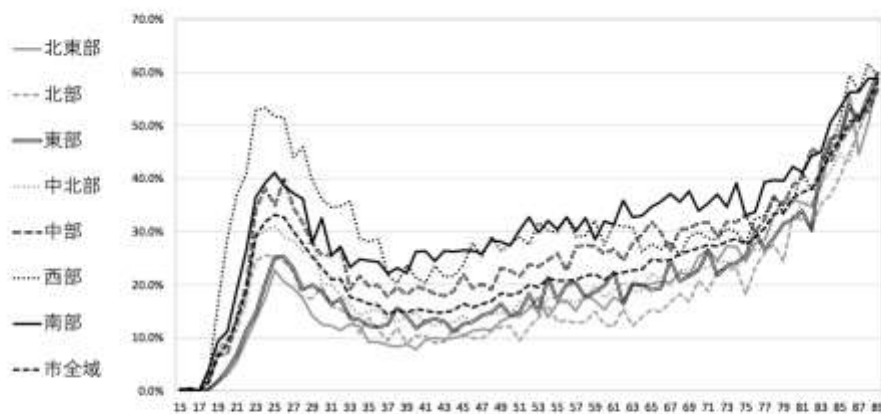
<このアイデアを提案する理由（なぜ）を書いていきます>

<先の（1）で書いた「何を」「誰が」「いつ」「どこで」「どのように」というアイデアの内容を支えるための、「なぜ」このアイデアがいいのか実現したいのかを上記のデータを示しつつ書いていきます>

「地域の見守り、交流、大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻という特徴を活かした地域の交流」

南部地域活性化推進に関する調査研究によると、豊中市南部地域の40代からの世帯人数が一人の世帯が豊中市において比率が高い。本アイデアでは今後も増加する可能性の高い独居高齢者の見守りや地域の交流を促すことができる。

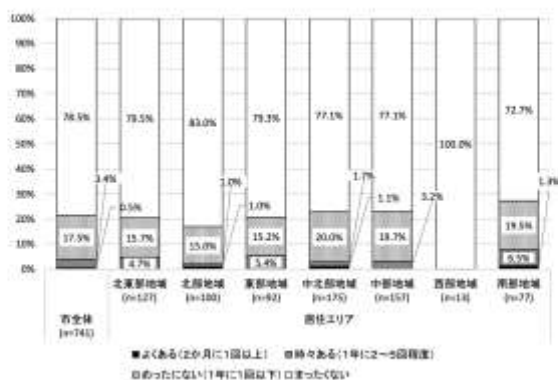
図表 10 豊中市7地域における年齢別単身者比率



資料：住民基本台帳（令和2年12月末現在）

また豊中市においては「街角での音楽イベント参加」については「よくある」「時々ある」を合わせると南部地域が最も多い割合となる。このことから演奏会を街角の公園で行うことにより、市民との交流を図れる開かれた演奏会を行うことができる。

図表 76 街角での音楽イベント参加



2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

Blank area for content.

2. アイデアの説明（公開）

(2) アイデアの理由（公開）

(3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

<アイデアに即した実現に向けての具体的な活動を上記のポイントに即して工夫して書いていきまず>

<以下のように分けて書いていきます>

1. 実現する主体
2. 実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法
3. 実現にいたる時間軸を含むプロセス

1. 実現する主体

主に大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻性が主体となり実現していきます。

2. 実現に必要な資源

【ヒト】

大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻生で運営を行います。そして、豊中市社会福祉協議会と協力しながら活動を行うことが必要だと考えます。また、双六から演奏会まで地域の人や高齢者自身も参加できるような活動にします。

【モノ】

演奏会は地域の公園で行います。

【カネ】

活動のための資金は豊中市からの助成金を受けようと考えます。

3.

この活動は年に2回行い、地域の定期的な交流となるイベントを目指します。

- ① メンバー募集、顔合わせ
- ② 双六のマスとなる住居決めるため、豊中市社会福祉協議会との協議を開始。
- ③ 不用品回収リストの作成
- ④ イベントの実施